

砂利採取業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	3	10~11	検収所屋根の雨漏り修理のためタルキを止めるアングルを手に持ち梯子を上っていたところ、高さ2mぐらい上った途中でバランスを崩し、2m下の台と共に右肩を下にした状態で落下し、右肩と腰部を強打した。	74	371	1	10 ~ 29
2017	3	15~16	土と石を選別する小型のトロンブル式選別機を稼働させていたところ、投入口に土がつまり、それをなんとかしようとして機械に登り、誤ってエンジンからつながるチェーンと歯車の間に左手指5本を挟み、5本とも負傷し、指2本を骨折した。	26	169	7	1 ~ 9
2017	3	14~15	社の駐車場に止めてある生コン車の中にある書類を取りに行こうとして、事務所から歩いているときに、コンクリートの地面が濡れていたため、右足が滑って体のバランスを崩した。左足は治療中のため力が入らず、右足を伸ばしたままで、左足は正座のように折れ曲がって尻もちをついた状態で倒れた。その後、左ひざがすぐに大きく腫れて痛み出した。	45	417	2	10 ~ 29
2017	4	17~18	弊社所有の敷地内において、作業後に重機（バックホー）から降りる際、クローラーシューから（クローラーシューから地面までは約90cm）とび降りたため骨折した。	58	142	3	10 ~ 29
2017	4	10~11	取引先で荷物を降ろす為とダンプのシートを外そうとはしごに登っている途中、足を踏み外して転落し、胸を強打しあばらにひびが入っ	69	221	1	1 ~

			た。				9
2017	5	16~ 17	10tダンプで荷物を下ろし、帰社途中のカーブで対向車線のガードレールを突き破り2m位下の田んぼに落ち、首と腰を打撲した。	50	221	17	10 ~ 29
2017	6	14~ 15	プラント内、ベルトコンベアーでのモーター交換作業をしていた。足場を梯子で確保したが、不安定な状態でのボルト締め作業であった。結果、ボルトを締め過ぎたためボルトがちぎれ、梯子から後ろ向きで転落した。	55	418	1	10 ~ 29
2017	7	11~12	プラントの場所でフルイ機の移動のため運搬車に積込中に玉掛を施工していてワイヤロップがはずれ本人と同時に転落した。(H=3.5m)	54	372	1	1 ~ 9
2017	7	8~9	製造工場内製造プラントの見回り中、作動中のベルトコンベアのローラーに付着したゴミがあった。ベルトコンベアが作動中にもかかわらずゴミを除去しようと、右手を差し入れたところ右腕を巻き込まれ負傷した。	41	224	7	10 ~ 29
2017	11	8~9	原石ホッパとクラッシャーから延びる砕石を流すベルトがずれてしまったので、ずれを直す作業をしていた、ベルトを止めると直せない状態であったため、ベルトを動かしたまま作業をしたところ土砂を除去するために使っていた鉄筋棒が滑り、ベルトに右手が巻き込まれた。軍手をはめていたが、中指第一関節と第二関節の間を大きく肉が削がれ骨が見える状態の裂創及び薬指擦過傷を負った。	61	224	7	1 ~ 9
2017	11	10~ 11	当社砂利砕石場において、砂利洗浄選別作業中、ベルトコンベアに小さな鉄板が挟まり、それを取り除こうとした時に、右の手首が鉄板とぶつかり負傷した。	45	224	8	10 ~ 29
2017	11	10~ 11	当社工場(砕石製造プラント・屋外)において、点検作業をしている時に、点検タラップに上る階段(4段)で足を滑らせ、前向きに転倒した際に腹部を強打し受傷した。	78	413	2	1 ~ 9

2017	12	15~16	工場内の1次側振動機下の地面で、スカート用のベルトを切断中、他の従業員のカッターの刃が滑り、ベルトを押さえていた被災者の左手中指の付け根辺りを負傷した。ベルトが硬くて切れにくかったので力を入れていたため、カッターが横に逸れて、刃で怪我をした。なお、軍手は着用していた。	64	379	8	10 ~ 29
------	----	-------	--	----	-----	---	---------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html